

オスプレイ配備を許さない！普天間基地を即時閉鎖しろ！

6.27 院内集会・防衛省行動



沖縄「復帰」から今年で40年ですが、沖縄の県土面積の1割以上、沖縄島の2割を米軍基地が占有しています。日本の総面積のわずか0.6%にすぎない沖縄に、在日米軍専用施設の74%が集中しています。その過重な負担を日本人口の1%にあたる沖縄の人々が背負わされ、米軍基地のもたらす事故や犯罪、爆音にさらされています。

政府は辺野古への基地建設計画に固執する一方で、普天間飛行場の大規模補修工事の必要についても述べています。報道によると8年にわたり200億円に及ぶ工事のかなりの部分を日本が財政負担すると言われていました。

また、開発段階から何度も墜落事故を起こして30人以上を死亡させている垂直離着陸輸送機 MV-22 オスプレイの普天間飛行場への配備を強行しようとしています。この7月にも導入し、10月から本格配備と言われていました。

最近の世論調査では、普天間基地の県外移設または撤去を求める人、オスプレイの配備に反対する人がともに9割を占めました(5/5・6『琉球新報』『毎日新聞』実施)。沖縄県民の怒りの声が高まっています。

宜野湾市のど真ん中に造られている普天間基地は、1日も早く閉鎖返還されるべきです。わたしたちは改修による使用の長期化・基地の恒久化に危惧を抱いており、辺野古への移設にも、危険なオスプレイの配備にも断固反対です。以上のことから、防衛・外務両省への公開交渉・申し入れを行なう院内集会と、防衛省前抗議行動を計画しています。ぜひご参加ください。

院内集会：6月27日(水)午後(予定) —時刻についてはHPもご覧ください—

<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>

■参議院議員会館(国会議事堂前下車) B109 会議室にて

■招致政府機関：防衛省・外務省

■沖縄からの参加：普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団(予定)

防衛省行動■18時30分～ 防衛省前(市ヶ谷駅下車)にて。各団体より文書の手交

主催：辺野古への基地建設を許さない実行委員会(首都圏の市民団体など39団体で構成)

東京都千代田区三崎町 2-2-13-502 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック気付(電話：090-3910-4140)